

ときめき人

Tokimeki Bito

石越町・第8

宍戸 勝さん

ししどまさる
昭和52年生まれ 血液型/B型

石越町に伝わる伝統芸能「赤谷南部神楽」。宍戸勝さんは保存会の若き継承者の一人として、日々の活動に励んでいます。保存会のメンバーだった祖父文一郎さん(故人)の影響で、小さい時から神楽に親しんでいたという宍戸さん。29歳の時、当時保存会の会長をしていた職場の上司から誘われ、迷うことなく入会しました。保存会のメンバーは現在11人。どこの神楽保存会でも後継者不足は大きな課題だといいます。「好きでないと続けていけないですね」と話す宍戸さん。「伝統を絶やさないように頑張ります」と、優しい笑顔の奥に伝統を守り抜く意志の強さを感じました。



神楽を舞う宍戸さん。小学4年の長女侑那(ゆな)さん(右)も神楽が好きで、3歳の時から舞台上に立っています

亡き祖父の影響で神楽の世界に
伝統を絶やさぬよう頑張ります

石越・赤谷南部神楽の 若き継承者



今月の表紙



◀地元野菜の「観音寺ゼリ」を生産している追町北方の木村壽さん、きく子さんご夫婦。12月下旬に収穫した根ゼリは、正月の雑煮に重宝されます。知る人ぞ知る登米市伝統の食材です。

編集室から

▼東日本放送の「ふるさとCM大賞」に今年は市内3団体から応募いただきました。テーマはそれぞれ「森林」「はっと」「元気」。30秒という短い時間の中で登米市の魅力を表現しています。放送は1月3日の午後4時からです。お楽しみに。(遠藤)

▼明けましておめでとございませう。今年も今年、めでたく年男になりました。昨年は、広報係2人の協力でも勉強になった一年でした。初心を忘れず、今年も魅力ある広報紙づくりを目標に頑張ります。(増子)

▼むし歯のない子の写真を撮りに市内各地の3歳児検診に行きます。寒さが厳しく外に出るのがおっくうにもなりますが、子どもたちの笑顔を見ると癒やされます。今年も今年、重い腰を持ち上げ、駆けるように(?)取材に出掛けたいと思います。(佐藤)

広報 Tome

Miyagi Tome Public Relations

